桑名城跡・伊賀上野城・伊勢亀山城跡・津城跡・松坂城跡・田丸城跡・鳥羽城跡・波切城跡

城郭めぐり

8つの城郭をめぐる
スタンプラリー
開催中

8つの観光協会から
特産品を抽選でプレゼント





名産の
伊賀牛や松阪牛、
伊勢海老や鮑(あわび)など
海の幸に
銘菓や名物などが
当たる!!



「日本100名城®」に選定

伊賀上野城







藤堂高虎公

戦国の世に築城の名手として知られる藤堂高虎公が本丸を拡張して普請。昭和に復興された天守閣が今も眩い。

“忍者の里”と呼ばれる伊賀国は、山に囲まれた9里四方の小さな盆地、その中心は上野城下町です。町の北側の丘には白亜三層の天守閣が、静かな雰囲気を醸しながら端麗な姿を見せていて、白鳳城の雅名があります。

天正13年(1585)、伊賀国を領した筒井定次が三層の天守を築き、北に表門を構えました。豊臣秀吉の没後、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝ち、豊臣政権の継承者としての地位を確立するに及んで、慶長13年(1608)、定次を失政を理由に改易、藤堂高虎が伊賀・伊勢の城主として伊予今治城から移り、自ら縄張りを指図、本丸を30mの高石垣で囲み、筒井古城を西側へ大拡張しました。しかし竣工直前の五層大天守は、慶長17年(1612)9月2日の暴風雨で倒壊、そのうち大坂夏の陣で豊臣方が滅亡したので城普請は中止され、城代家老が執政することとなりました。

現在の天守は、昭和10年(1935)、地元の名士川崎克氏が私財を投じて純木造の復興天守を再建、伊賀文化産業城と称しました。城跡は昭和42年(1967)に国史跡に、天守は昭和60年(1985)に伊賀市の文化財に指定されています。







スタンプ設置場所



伊賀市観光インフォメーションセンター
伊賀市上野丸之内116 旧上野市庁舎
SAKAKURA BASE内
TEL0595-51-9743
開館時間 9:00~18:00
休館日 12月29日~1月1日

伊賀上野は、伊賀流忍術の発祥地です!

上野公園(伊賀上野城址公園)には、日本で唯一の忍者(忍術)をテーマにした登録博物館である「伊賀流忍者博物館」があります。この博物館には、忍者が住んでいた仕掛けカラクリのある「忍者屋敷」や、忍者が使っていた道具や武器を展示している「忍術体験館」、また忍者の生活を紹介する「忍者伝承館」、そして、忍者が忍術を実演している「忍術ひろば」、手裏剣打ちの体験もできます。また、だんじり会館をはじめとした市内の「忍者変身処」で忍者衣装をレンタルして、まちなか散策を楽しむこともできます。



伊賀流忍者博物館「忍術ひろば」



だんじり会館「忍者変身処」



伊賀流忍者博物館

桑名城



九華公園



蟠龍櫓



本多忠勝公

戦国最強武将・本多忠勝が築いた「海道の名城」。「抗戦か恭順か」歴史に翻弄された明治維新を語る城跡。

関ヶ原の合戦後、1601(慶長6)年、初代藩主の本多忠勝が近世城郭を築きました。桑名は古来より湊町として栄えた街で、その後も歴代城主は東海道と水運を利用した町衆のための街づくりを行いました。

桑名城は揖斐川を利用した水城でかつては95の櫓を有する「海道の名城」と称えられました。現在は石垣の一部と外観を復元した「蟠龍櫓」を見る事ができます。桑名城周辺では現在も七里の渡しをはじめ美しい水路のある風景を見ることができます。

幕末は十五代将軍徳川慶喜、会津藩主松平容保、桑名藩主松平定敬が幕府の中核として、政局を主導しましたが、鳥羽伏見の戦いで敗れ「朝敵」となる憂き目を見ます。藩主不在の桑名城では抗戦か恭順か激論となり、鎖国守国神社の神籤により一旦は抗戦と決定しましたが、無血開城となりました。新政府軍は辰巳櫓を焼き開城の証としました。城は壊されましたが1928(昭和3)年、元桑名藩士で造園家の小沢圭次郎が「九華公園」として整備、また天守閣跡には定敬らが建てた戊辰殉難招魂碑が残ります。なお「九華」とはかつて「九華城」と呼ばれたことに由来します。



鎮国守国神社



辰巳櫓



天守閣跡

スタンプ設置場所





①クワナベース〈御城印販売所兼〉
桑名市東方55-1 TEL0594-21-5416
②住吉浦休憩施設〈御城印販売所兼〉
桑名市太一丸地先 TEL0594-23-3010
①②どちらも
開館時間 9:00~17:00(昼休みを除く)
休館日 12月29日~1月3日

家康の孫・千姫のその後

大阪夏の陣で助け出された家康の孫・千姫は江戸に帰る途中七里の渡しを船で渡ります。このときに先導を勤めたのが忠勝の孫・本多忠刻でした。これがご縁で千姫は本多家へ嫁ぎ桑名で幸せな新婚生活を過ごしたと言われています。桑名宗社には千姫が亡き祖父を祀った桑名東照宮があります。



七里の渡し



桑名東照宮

スマホアプリ「桑名城探訪」配信中



指定のポイントで3DCGで再現された桑名城を見ることができる他、現代の地図と古地図を重ねて表示しながら街歩きができます。

「続日本100名城®」に選定

津城跡



北多門櫓と戌亥櫓



もぎやぐらひがしくろがねもん
模擬櫓 東鉄門



北内堀

藤堂高虎像

築城の名手、藤堂高虎公が改修した典型的な近世城郭様式。石垣の直線的な稜線が特徴です。

織田信長の伊勢国侵攻に伴い地元の雄・長野氏に養子入りした弟・信包は、低湿地であった安濃川のデルタ地帯に新たに城を築きます。天正8年(1580)に完成したこの城が津城のルーツとなりました。ここは北を安濃川、南を岩田川に挟まれており、敵からの防御に優れた場所に城を築いたといえます。

文禄3年(1594)信包が秀吉に改易され、翌年新たに富田氏が津城主となります。一白・信高親子に2代にわたる治世は約15年に及びます。慶長13年(1608)徳川家康の命により、富田氏に替わり藤堂高虎が伊予国今治から伊勢・伊賀の城主として入府します。築城の名手・高虎は大坂包囲網づくりのため各地の天下普請に多忙を極めましたが、漸く慶長16年(1611)になり自領の津城と伊賀上野城の大修築にかかります。両城とも単なる城づくりではなく、来るべき泰平の世を見すえた新たな城下町の建設を構想したものでした。2017年に「続日本100名城」に選ばれた津城最大の特徴は、最大100mにも及ぶ幅の広い内堀と、本丸北側に代表される直線的な稜線を持った高石垣です。これは高虎の城づくりの特徴で、石垣の上に建つ白壁の櫓が堀の水面に映える姿はまさしく「水城」と言えます。



大天守台



本丸と西の丸の接続部



高虎公遺訓碑



南多門櫓と旧隅部

スタンプ設置場所



高山神社
津市丸之内27-16
TEL059-225-8558
開館時間 9:00~16:00
休館日 年中無休



御殿場海岸の潮干狩り



高田本山専修寺



榊原温泉



津ぎょうざ



安くて美味しいうなぎ料理

三重県の県都・津市は、歴史・自然・温泉・グルメが楽しめる魅力あふれるまちです。国宝「高田本山専修寺」では、全国でも珍しい国宝の御影堂と如来堂の2棟が並びます。続日本100名城「多気北畠氏城館」では歴史ロマンに触れ、夏は「御殿場海岸」で潮干狩りを満喫。日本三名泉の一つ「榊原温泉」は、美肌の湯として親しまれています。さらに、安くて美味しいうなぎや、直径約15㎝の名物「津ぎょうざ」など、津ならではの味覚も楽しめます。歴史・自然・食の魅力が詰まった津市へ、ぜひお越しください。

日本一短い地名「津」は、県都。歴史と文化、海と温泉に出会える旅のまち。

伊勢亀山城跡



多門櫓入口



多門櫓展示



石川昌勝甲冑

主要街道の交差する亀山は戦略上の要衝であった。多門櫓をはじめ伊勢亀山城跡は戦国乱世の時代を経た貴重な城郭建造物。

伊勢亀山城は中世の亀山に勢力を誇った関氏の居城でした。また亀山の地は天正期の織田信長・信雄の伊勢支配、そして秀吉の全国統一過程において、「軍事・兵站・交通統制」の三要素を兼ね備えた希少な地点でした。

城は天正18年(1590)、岡本宗憲によって天守を築造するなど修築を行い、本多俊次が寛永16年(1639)から3ヵ年を掛けて行った大改修によってほぼ現在の城地が確定しました。東海道の要衝ということもあって、城主はその多くが譜代大名で、延享元年(1744)に石川総慶が入城後は、明治まで石川家が城主を努めました。なお、丹波亀山城(京都府亀岡市)の天守を壊すよう幕府に命ぜられた出雲松江城主堀尾忠晴がまちがえて伊勢亀山城の天守を取り壊したと伝えられ、以降天守は再建されませんでした。



亀山宿加藤家屋敷



亀山宿西町　旧舘家住宅



亀山城二ノ丸帯曲輪

スタンプ設置場所



亀山市役所
(1階受付にスタンプを設置)
亀山市本丸町577番地
TEL0595-82-1111
開館時間 8:30~17:15
休館日 12月29日~1月3日



関宿東追分・伊勢別街道鳥居



鈴鹿峠東街道



関宿まちなみ

亀山市には、東海道の四十六・四十七四十八番目のあたる三つの宿場町「亀山宿」・「関宿」・「坂下宿」があり、江戸時代には、参勤交代や伊勢参りの旅人などで賑わいました。中でも、関宿は、現在でも古い町家200軒あまりが残っており、東海道で唯一、往時の町並みを色濃くとどめていることから、昭和五十九年に国の重要伝統的建造物群保存地区」に選定。

町に足を踏み入れると、まるでタイムトラベルで江戸時代に迷い込んだような気分を体験できます。

東海道の亀山宿、関宿に往時の面影が残る！

「続日本100名城®」に選定

田丸城跡



天守跡



田丸城主・織田信雄公（総見寺所蔵）

戦国時代、多くの武将たちが居城した南伊勢随一の名城。野面積みの石垣が、今も美しく残ります。

田丸城は古来、玉丸城と称され、延元元年（1336）後醍醐天皇の吉野遷幸の時期に、北畠親房が伊勢の拠点として築きました。永禄10年（1567）より織田信長軍の伊勢進攻を受け、 その後天正3年（1575）より北畠信雄（織田信雄）が在城、 同8年の焼失までの間に大々的に田丸城の改修を行いました。関ヶ原合戦後、元和2年（1616）田丸城は津城主藤堂和泉守高虎の所領となり、同5年の紀州藩設置により紀州徳川家家老の久野丹波守宗成が城主となりました。明治4年（1871）城内の建物は取り壊され、 現在は石垣や堀、一部の建物を残すのみとなっています。

田丸城跡は築城時期が14世紀にさかのぼることから、当初の城は現在のような石垣は無く、丘陵に土塁を巧みに組み合わせた中世山城と同様の構造であったと考えられています。その後16世紀の織田支配時期の改造時に石垣が構築され、藤堂家支配時期を経て紀州藩出城となり江戸期を通じて様々な改修がなされました。なお、北の丸跡や二の丸跡付近には古い時代の石垣が残存しています。

また、県内の城跡としては珍しく外堀が残されており、昭和28年（1953）、県史跡に指定されました。



二の門跡



富士見門

スタンプ設置場所



村山龍平記念館

度会郡玉城町田丸114-1
TEL0596-58-8212

開館時間 8:45～16:30
休館日 12月29日～1月3日

田丸城主の家老が建築した茶室兼別邸！

弘化四年（一八四七）に田丸城主久野家の家老、金森得水により設計・建築された茶室兼居宅、玄甲舎。数寄屋造りの貴重な建物が、築七〇年以上経過した今も当時のまま残っています。表千家茶道の免許皆伝を受けた得水は、しばしばここで茶会を催し、士族をはじめ当代一流の各界名士を招き、交流を深めたと伝えられています。

現在は建物の中を見学できる他、茶室の貸出、展示会などのイベントを行っています。季節ごとに様々な花が咲き、四季折々の景観が楽しめる庭園も見所のひとつです。



庭園



茶室



玄甲舎

「日本100名城®」に選定

松坂城跡



松坂城跡



野面積み



蒲生氏郷公

織田信長の娘婿で文武両道の戦国武将・蒲生氏郷が築いた城。穴太衆による野面積みが現存する。

織田信長亡き後、羽柴（豊臣）秀吉に仕え天正12年（1584）南伊勢12万石の所領を与えられた蒲生氏郷は、四五百森（よいぼのもり）に着目し新しい城造りに着手します。天正16年（1588）、城造りを始めてからわずか3年後、新しい城に本拠を移し、蒲生家に吉祥をもたらす「松」の字と秀吉の本拠地「大坂」の「坂」の字を併せ「松坂」と名づけました。

松坂城は、標高約38mの独立した丘陵(四五百森)に築かれた平山城で、北側を流れる阪内川を防御ラインとした要害の地に立地しています。丘陵を切通しで南北に分断し、中核部である北丘、城の鎮守神を祀る南丘、両丘の周囲の三ノ丸で縄張りが構成されています。北丘は、本丸を中心として東側に二ノ丸、南側に隠居丸、西側にきたい丸を配し、周囲には堅固な石垣を巡らせています。また、城の周囲には三ノ丸を取り巻く形で土居（土塁）、その外側に堀がありました。築城当時の石垣は、自然石を利用した穴太衆と呼ばれる石垣専門の職人による「野面積み」で、その石垣ひとつひとつを注意深く観察すると、古墳の石棺など他の石造物の部材も使用されていることがわかります。

松坂城跡の見どころは、全国でも屈指の壮大な石垣です。国史跡に指定され、日本100名城にも選ばれています。



二ノ丸跡から見た御城番屋敷



桜と石垣



石垣

スタンプ設置場所



松阪市立歴史民俗資料館（2階小津安二郎松阪記念館）

松阪市殿町1539 TEL0598-23-2381

開館時間 9:00～16:30（4月～9月）
9:00～16:00（10月～3月）
休館日 月曜日（祝日を除く）、祝日の翌平日、年末年始
※展示替えで臨時休館あり

休館日は松阪駅観光情報センター、豪商のまち松阪観光交流センターにスタンプを設置しています。

ちょっとひと休みして「松阪牛」を堪能！

きめ細かい霜降りと、箸で切れる柔らかな肉質はさすが世界に誇るブランド「松阪牛」です。醤油と砂糖を使った味付けのすき焼きや、お肉本来の味を楽しめる網焼きなど、どれも自慢の肉質で美味しさも絶品です。

また、味噌味などお店によって異なるタレで楽しめるホルモンもお値打ちで人気です。







波切城跡



波切城跡



仙遊寺



九鬼一族の墓（仙遊寺）

大王埼灯台がある大王崎岬一帯に
九鬼氏の4代当主「九鬼隆良」が築いた海辺の丘城。
八幡さん公園には城址を思わせる土塁のような地形があります。

波切城は九鬼嘉隆が生まれた城として有名です。もともとはこの地域の土豪・川面氏によって築かれた天然の要害でしたが、嘉隆の祖父にあたる九鬼隆良によって奪われました（養嗣子になったとも）。嘉隆が城主のとき地頭連合「志摩七党」に攻められ落城すると、嘉隆は滝川一益を通じて織田信長の臣下となり、信長を後ろ盾に志摩国全域を支配します。その後、文禄3年（1594年）に嘉隆が志摩半島北部に鳥羽城を築くと廃城になりました。

現在は大王埼灯台の西にある、八幡さん公園として整備されています。また近隣にある仙遊寺には九鬼一族のお墓が現存しています。



石碑



大王崎全景



八幡さん公園からの眺め



スタンプ設置場所

志摩市観光案内所
〈御城印販売所兼〉
志摩市阿児町鵜方1670-2
近鉄鵜方駅改札階
TEL0599-46-0570
開館時間 9:00~17:00
休館日 年中無休

自然と食と温泉と灯台のまち
志摩市へ！

三重県の南東部に位置する志摩市。市全体が伊勢志摩国立公園に含まれ、豊かな海と山の自然に恵まれています。

大王埼灯台は、全国に16基しかない登れる灯台（参観灯台）の一つですが、同じ志摩市にある安乗崎灯台と合わせ、2つの参観灯台がある唯一のまちです。

古来より朝廷や神宮に食料を献上する「御食国（みけつくに）」として知られ、おいしい食材が揃う環境は今でも変わりません。伊勢えび、的矢かき、あのりふく、あわびなど、新鮮な海の幸を味わえるのも魅力の一つです。

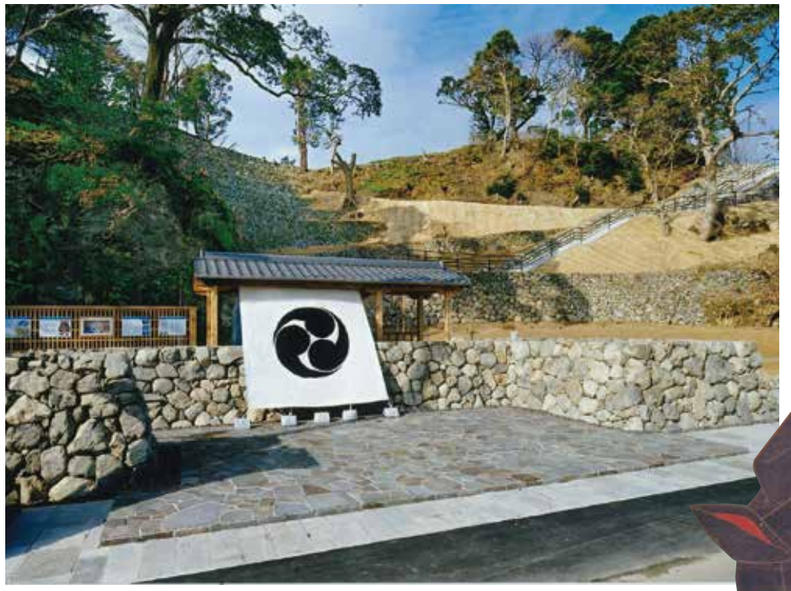
また志摩にはもちろん温泉もあります。特徴はなんといってもそのロケーションで、絶景を眺めながら温泉につかる贅沢なひとときは忘れられない旅の思い出になること間違いなしです。







鳥羽城跡



三の丸広場



本丸石垣



九鬼嘉隆公

戦国時代に水軍大将として活躍した九鬼嘉隆公。
当時は四方を海に囲まれた「海城」。

鳥羽城跡は、良港として知られる泊浦（現在の鳥羽）の妙慶川河口部に位置し、標高約40メートルの小高い丘を利用して築かれた平山城です。本丸は南側の山頂部に設けられ、その周囲には自然の地形を巧みに生かしながら曲輪が雛壇状に配置されています。築城主は、織田信長・豊臣秀吉に仕え、水軍大将として活躍した九鬼嘉隆です。鳥羽城は文禄3年（1594年）に完成したと伝えられています。

鳥羽城は、海に面した大手門（水門）を備え、内陸側には堀を巡らせるなど、四方を海に囲まれた「海城」として築かれました。外曲輪を含めた総面積は約32,280坪（約106,500平方メートル）に及び、内陸部とは藤口門・横町口門・相橋口門の3か所の橋で結ばれていました。廃城時には天守のほか12基の櫓が建ち並び、城内には本丸北西部に3層の天守、南側には本丸御殿が配置されていたことが絵図から確認されています。

現在、本丸跡の周囲には野面積みの石垣が良好な状態で残されており、往時の姿を今に伝えています。また、鳥羽市役所西庁舎裏にある家老屋敷跡周辺にも石垣が残されています。城を囲んでいた堀の多くは埋め立てられましたが、妙慶川に架かる相橋付近には、堀の石垣が唯一現存しています。石垣には主にカンラン岩と千枚岩が使用されており、これらは周辺の海岸部で採取された石材であると考えられています。鳥羽城跡は、九鬼水軍の拠点として栄えた歴史を今に伝える貴重な史跡です。



鳥羽城絵図（小学校蔵拡大）



本丸東



城山公園



スタンプ設置場所

鳥羽市歴史文化ガイドセンター
鳥羽市鳥羽1丁目10-48　TEL0599-25-8255
スタンプは、いつでもご利用いただけるよう、常時屋外に設置しております。
開館時間 9:00~16:00
休館日 火曜日

旅の疲れを癒やす絶景と海の幸
鳥羽のお宿

風光明媚な鳥羽には、それぞれの地域ならではの魅力を備えた個性豊かなお宿が数多くあります。なかでも約50軒の温泉宿では、美しい海を眺めながら、旅の疲れをゆったりと癒やすことができます。また、伊勢志摩の海の幸は、古くから朝廷へ献上されてきたことでも知られ、鳥羽は新鮮で良質な海産物の産地として全国にその名を知られています。四季折々に水揚げされる旬の海の幸をふんだんに使った料理で、鳥羽ならではのおもてなしをお楽しみいただけます。

歴史と自然に彩られた鳥羽を巡ったあとは、心安らぐお宿でゆったりとしたひとときをお過ごしください。九鬼嘉隆も愛した美しい海の景色と、四季折々の海の幸が、旅の思い出をより一層豊かなものにしてくれることでしょう。









ACCESS MAP

城郭までのご案内

★・・・御城印販売所



桑名城跡

桑名市吉之丸5-1

一般社団法人 桑名市観光協会
〒511-0811 桑名市東方55-1
TEL 0594-41-2222
https://www.city.kuwana.lg.jp/kanko/



交通のご案内

【車でお越しの場合】

名古屋	東名阪自動車道 約40分					桑名IC	一般道 約15分
大阪	名神高速 約30分	四日市JCT	約40分	新名神高速	草津JCT	東名阪自動車道 亀山JCT	約30分 / 約30分
京都	約15分	新四日市JCT	約20分				

桑名城跡

【航空機・列車でお越しの場合】

東京	新幹線 約1時間40分		名古屋 JR関西本線/近鉄名古屋線 約20分
中国際空港部	名鉄空港特急 約40分		
京都	新幹線 約40分		
関国際空港西	近鉄特急 約50分	名古屋	近鉄特急 約1時間30分
	南海特急 約40分	難波	近鉄特急 約2時間

桑名

伊賀上野城

伊賀市上野丸之内106

一般社団法人 伊賀上野観光協会
〒518-0873 伊賀市上野丸之内122-4
だんじり会館内 TEL 0595-26-7788
https://www.iga-guide.com/



交通のご案内

【車でお越しの場合】

名古屋	名古屋高速 約20分	名古屋高速	東名阪自動車道 約40分	亀山	名阪国道 約30分	上野東IC		伊賀上野城
大阪	阪神高速 約20分	松原JCT	西名阪自動車道 約20分	天理	名阪国道 約35分			
	名神高速 約1時間	草津JCT	新名神高速 約15分	甲南IC	一般道 約25分			

【三重交通高速バスでお越しの場合】

名古屋方面

名鉄バスセンター	約1時間	関バスセンター	約30分

上野市（伊賀上野）

伊勢亀山城跡

亀山市本丸町572番地

一般社団法人 亀山市観光協会
〒519-1111 亀山市関町新所664-2
TEL 0595-97-8877
https://www.kameyama-kanko.com/



交通のご案内

【車でお越しの場合】

名古屋	東名阪自動車道 約1時間					亀山IC	一般道 約10分
大阪	西名阪自動車道・名阪国道 約2時間						
京都	名神高速 約20分	草津JCT	新名神高速 約40分	亀山JCT	東名阪自動車道 約10分		

伊勢亀山城跡

【航空機・列車でお越しの場合】

東京	新幹線 約1時間40分	名古屋	JR関西 約1時間10分
中国際空港部	高速船 約45分	なばなの里 津	津 JR 約20分
京都	JR草津 約1時間	松阪	津 JR関西 奈良 約18分 関 JR関西 約6分
関国際空港西	南海特急 約1時間10分	大阪	JR関西 約1時間10分

亀山

津城跡

津市丸之内27

一般社団法人 津市観光協会
〒514-0009 津市羽所町700番地
アスト津1F TEL 059-246-9020
https://www.tsukanko.jp/



交通のご案内

【車でお越しの場合】

名古屋	東名阪自動車道 約1時間10分					伊勢関IC	伊勢自動車道 約20分	津IC 一般道 約10分
大阪	西名阪自動車道・名阪国道 約2時間							津城跡
京都	名神高速 約20分	草津JCT	名神高速 約20分	亀山JCT	東名阪 約5分			

【航空機・列車でお越しの場合】

東京	新幹線 約1時間40分	名古屋	JR東海/近鉄特急 約50分
中国際空港部	高速船 約45分	なばなの里 津	津 約15分
京都	近鉄特急 約2時間		
関国際空港西	南海特急 約40分	難波	近鉄特急 約1時間50分

津

鳥羽城跡

鳥羽市三丁目

一般社団法人 鳥羽市観光協会
〒517-0022 鳥羽市大明東町1-7
TEL 0599-25-3019
https://www.toba.gr.jp/



交通のご案内

【車・フェリーでお越しの場合】

東京	東名阪高速 約2時間30分	鈴鹿IC	一般道 約1時間40分	伊良湖	伊勢湾フェリー 約55分			鳥羽城跡
名古屋	東名阪自動車道 約1時間10分					伊勢関IC	伊勢自動車道 約45分	伊勢IC 一般道 約10分
大阪	西名阪自動車道・名阪国道 約2時間							
京都	名神高速 約20分	草津JCT	新名神高速 約20分	亀山JCT	東名阪 約5分			

【航空機・列車でお越しの場合】

東京	新幹線 約1時間40分	名古屋	JR東海/近鉄特急 約1時間35分
中国際空港部	高速船 約45分	なばなの里 津	津 近鉄特急 約40分
京都	近鉄特急 約2時間20分		
関国際空港西	南海特急 約40分	難波	近鉄特急 約2時間

鳥羽

波切城跡

志摩市大王町波切

一般社団法人 志摩市観光協会
〒517-0501
TEL 0599-46-1112
https://www.kanko-shima.com



交通のご案内

【車・フェリーでお越しの場合】

東京	東名阪高速 約2時間30分	鈴鹿IC	一般道 約1時間40分	伊良湖	伊勢湾フェリー 約55分	鳥羽		波切城跡
名古屋	東名阪自動車道 約1時間10分					伊勢関IC	伊勢自動車道 約45分	伊勢IC 一般道 約50分
大阪	西名阪自動車道・名阪国道 約2時間							
京都	名神高速 約20分	草津JCT	新名神高速 約20分	亀山JCT	東名阪 約5分			

【航空機・列車でお越しの場合】

東京	新幹線 約1時間40分	名古屋	JR東海/近鉄特急 約2時間	鵜方	三重交通バス 約25分 大王埼灯台
中国際空港部	高速船 約45分	なばなの里 津	津 近鉄特急 約1時間15分		
京都	近鉄特急 約2時間45分				
関国際空港西	南海特急 約40分	難波	近鉄特急 約2時間30分		

松坂城跡

松阪市殿町

一般社団法人 松阪市観光協会
〒515-0017 松阪市京町507-2 松阪駅観光情報センター内 TEL 0598-23-7771
https://www.matsusaka-kanko.com/



交通のご案内

【車でお越しの場合】

名古屋	東名阪自動車道 約1時間10分					伊勢関IC	伊勢自動車道 約30分	松阪IC 一般道 約10分
大阪	西名阪自動車道・名阪国道 約2時間							松坂城跡
京都	名神高速 約20分	草津JCT	新名神高速 約20分	亀山JCT	東名阪 約5分			

【航空機・列車でお越しの場合】

東京	新幹線 約1時間40分	名古屋	JR東海/近鉄特急 約1時間10分
中国際空港部	高速船 約45分	なばなの里 津	津 近鉄特急 約25分
京都	近鉄特急 約2時間		
関国際空港西	南海特急 約40分	難波	近鉄特急 約1時間30分

松阪

田丸城跡

度会郡玉城町田丸114-1

玉城町観光協会
〒519-0414 度会郡玉城町佐田49-2田丸駅舎内
TEL 0596-58-7007
https://tamaki-kanko.localinfo.jp/



交通のご案内

【車でお越しの場合】

名古屋	東名阪自動車道 約1時間10分					伊勢関IC	伊勢自動車道 約45分	玉城IC 一般道 約5分
大阪	西名阪自動車道・名阪国道 約2時間							田丸城跡
京都	名神高速 約20分	草津JCT	名神高速 約20分	亀山JCT	東名阪 約5分			

【航空機・列車でお越しの場合】

東京	新幹線 約1時間40分	名古屋	JR東海/近鉄特急 約1時間10分
中国際空港部	高速船 約45分	なばなの里 津	津 近鉄特急 約25分
京都	近鉄特急 約2時間		
関国際空港西	南海特急 約40分	難波	近鉄特急 約1時間30分

松阪 JR 約20分 田丸

伊賀焼
安永餅
平治煎餅
関の戸
豚城
真珠
シェルレーヌ
松阪木綿

伊賀市



桑名市



亀山市



津市



買いたい！みえのいいもん

三重みやげ

三重県には、海の幸山の幸の美味しいものや、伝統技術と洗練アレンジの妙が見られる逸品など、いいものたくさん!
詳しくはこちら ▶▶▶

松阪市



玉城町



鳥羽市



志摩市



登城記念 御城印

御城印の販売を行っております。
詳しくは各観光協会にお問合せください。

桑名城跡



◆クワナベース
桑名市東方55-1
電話/0594-21-5416
時間/9:00～17:00(年末年始休業)

◆住吉浦休憩施設
桑名市太一丸地先
電話/0594-23-3010
時間/9:00～17:00(年末年始休業)

【料金】桑名城: 500円
忠勝公墨絵: 700円
千姫の御城印:500円
本多忠刻御城印:500円

【販売方法】書き置き(印刷)

伊賀上野城



◆伊賀上野城城内
チケット販売窓口
伊賀市上野丸之内106
電話/0595-21-3148
時間/9:00～17:00
(最終入館16:45)
定休日/12月29日～1月1日

【料金】200円
【販売方法】書き置き(印刷)

伊勢亀山城跡



◆亀山市観光協会関駅売店
亀山市関町新所664-2
電話/0595-97-8877　時間/8:30～17:00
定休日/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

◆しぼりや (衣料品店)
亀山市東町1-3-4　電話/0595-82-0410
時間/9:00～17:00　定休日/木曜日・年始

◆関宿足湯休憩施設
亀山市関町新所1974-1
電話/0595-96-1112　時間/9:00～16:30
定休日/月曜日(祝日の場合は翌日火曜日) 年末年始

【料金】300円
【販売方法】書き置き (印刷)

津城跡



◆津市観光協会
津市羽所町700アスト津1階
電話/059-246-9020
時間/10:00～18:00
定休日/年末年始(12月29日～1月3日)

【料金】 300円
【販売方法】書き置き (印刷)

松坂城跡



◆松阪駅観光情報センター
松阪市京町507-2　電話/0598-23-7771
時間/9:00～18:00　定休日/年末年始(12/30～1/2)

◆松阪市立歴史民俗資料館(2階 小津安二郎松阪記念館)
松阪市殿町1539　電話/0598-23-2381
時間/9:00～16:30 (4月～9月)、9:00～16:00 (10月～翌年3月)
定休日/月曜日(祝日を除く)、祝日の翌平日、
年末年始(12/29～1/3)

◆豪商のまち松阪　観光交流センター
松阪市魚町1658-3　電話/0598-25-6565
時間/9:00～18:00(12月～2月/～17:00)
定休日/年末年始(12/30～1/2)

◆まつさか交流物産館
松阪市京町301　電話 /0598-22-3770
時間/9:00～18:00　定休日/年末年始(12/30～1/2)

【料金】 300円 (通常の御城印)
【販売方法】書き置き(印刷)

田丸城跡



◆村山龍平記念館
度会郡玉城町田丸114-1
電話/0596-58-8212
時間/8:45～16:30
定休日/年末年始(12月29日～1月3日)

【料金】 スタンプ形式 無料、
プレミアム御城印 1枚300円
【販売方法】
スタンプ書き置き(印刷)
御城印はスタンプ形式(通常の御城印はスタンプ形式となっており、無料で押していただけます)と、プレミアム御城印(1枚300円、3ヶ月ごとにデザイン変更)があります。

鳥羽城跡



◆鳥羽市観光協会
鳥羽市大明東町1-7　電話/0599-25-3019
時間/8:30～17:00　定休日/土日祝、年末年始

◆鳥羽市観光案内所
鳥羽市鳥羽1-8-13 鳥羽駅構内　電話/0599-25-2844
時間/9:00～17:30　定休日/無休

◆鳥羽市歴史文化ガイドセンター
鳥羽市鳥羽1丁目10-48　電話/0599-25-8255
時間/9:00～16:00　定休日/火曜日、年末年始

【料金】300円～
【販売方法】書き置き(印刷)

波切城跡



◆志摩市観光案内所
志摩市阿児町鵜方1670-2
近鉄鵜方駅改札階
電話/0599-46-0570
時間/9:00～17:00
定休日/なし 年中無休

【料金】 300円
【販売方法】 書き置き(印刷)

◆波切城跡近くの店
(大王埼灯台バス停から波切城跡に至る道沿い)
・真珠の店 あらふら丸(9:00～16:30)
・真珠の店 龍宮　(9:00～16:30)
・まるいひもの店　(8:30～15:30)

8つの城郭をめぐる スタンプラリー開催!

P15の所定の位置にスタンプを押して、8つ揃えば抽選で8名様に
名産の伊賀牛や松阪牛、伊勢海老や鮑(あわび)など海の幸、
各観光協会の銘菓や名物など特産品を1つプレゼント!



応募方法

所定の位置に8つの城郭スタンプを押してください。
8つのスタンプが揃った場所で確認印をもらい、下記の応募用紙を切り取って提出すれば応募完了です。

郵送でもご応募いただけます。その際は必ず、下記のいずれかの観光協会へお送りください。
応募用紙は各観光協会のホームページからもプリントアウトできます。

※年2回、6月と12月に抽選を行います。 ※1回の抽選においてお一人様1回のご応募に限らせていただきます。

郵送先

応募用紙の郵送での送付はいずれかの観光協会へ

一般社団法人 **桑名市観光協会** 〒511-0811 桑名市東方55-1 クワナベース
TEL 0594-41-2222 FAX 0594-21-5416 https://www.city.kuwana.lg.jp/kanko/

一般社団法人 **伊賀上野観光協会**
〒518-0873 伊賀市上野丸之内122-4 だんじり会館内
TEL 0595-26-7788 FAX 0595-26-7799 https://www.iga-guide.com

一般社団法人 **亀山市観光協会** 〒519-1111亀山市関町新所664-2
TEL 0595-97-8877 FAX 0595-96-0700 https://www.kameyama-kanko.com/

一般社団法人 **津市観光協会** 〒514-0009 津市羽所町700番地 アスト津1F
TEL 059-246-9020 FAX 059-221-0811 https://www.tsukanko.jp/

一般社団法人 **松阪市観光協会**
〒515-0017 松阪市京町507-2 松阪駅観光情報センター内
TEL 0598-23-7771 FAX 0598-26-4778 https://www.matsusaka-kanko.com/

玉城町観光協会 〒519-0414 度会郡玉城町佐田 49-2
TEL 0596-58-7007 FAX 0596-58-9090 https://tamaki-kanko.localinfo.jp/

一般社団法人 **鳥羽市観光協会** 〒517-0022 鳥羽市大明東町1-7
TEL 0599-25-3019 FAX 0599-25-6358 https://www.toba.gr.jp/

一般社団法人 **志摩市観光協会** 志摩市阿児町鵜方1670-2 近鉄鵜方駅改札階
TEL 0599-46-1112 https://www.kanko-shima.com

抽選結果は各観光協会HPにて発表、当選者には直接賞品を発送いたします。

〈キリトリ〉

城郭めぐりスタンプラリー応募用紙

お名前	ふりがな	ご住所	〒□□□-□□□□ 都道府県　市郡
年齢	歳	連絡先電話番号	ー　ー

よろしければアンケートにお答えください。 ※該当の項目に✓をお願いします。

1.最初に訪れた城郭はどこですか?
□桑名城跡 □伊賀上野城 □亀山城跡 □津城跡
□松坂城跡 □田丸城跡 □鳥羽城跡 □波切城跡

2.城郭は何でお知りになりましたか?
□テレビ □新聞・雑誌 □ホームページ等 SNS
□家族・知人 □その他 [ ]

3.城郭への移動はおもに何を利用されましたか?
□JR・近鉄 □バス □乗用車 □ 徒歩
□その他 [ ]

ご意見、ご感想があればお聞かせください。

最終確認印

年　月　日

※ご記入いただいたご住所やお名前等の情報は、プレゼントの発送のみに使用いたします。他の目的での使用はいたしません。

スタンプ押印用紙

スタンプの重複は無効です。

伊賀上野城
旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE内「伊賀市観光インフォメーションセンター」にスタンプを設置しています。

伊勢亀山城跡
亀山市役所1階受付にスタンプを設置しています。



桑名城跡
クワナベースと住吉浦休憩施設にスタンプを設置しています。

松坂城跡
歴史民俗資料館内にスタンプを設置しています。

津城跡
高山神社にスタンプを設置しています。

城郭めぐり完了の証

年　月　日

鳥羽城跡
鳥羽市歴史文化ガイドセンター内にスタンプを設置しています。

田丸城跡
村山龍平記念館にスタンプを設置しています。

波切城跡
志摩市観光案内所にスタンプを設置しています。

三重の城

HISTORIC CASTLES IN MIE

2026年10月1日発行
問合せ先／一般社団法人 津市観光協会